



鈴木鎮一生誕110年記念
第52回スズキ・メソッド グランドコンサート開催

社団法人
才能教育研究会

Press Information 2009

2009年2月24日

～3,000人の子どもたちによるクラシックコンサート～

日時：2009年3月30日（月）午後1時開演

会場：日本武道館



今、話題になっている南米ヴェネズエラの奇跡の音楽教育「エル・システマ」の提唱者アブレウ博士の言葉の中に「音楽は世界を変える」という言葉があります。スズキ・メソッドも48年前、来日したチェロの巨匠パブロ・カザルスがスズキ・メソッドの子どもたちの演奏を聴いて「音楽は世界を救うであろう」とスピーチを残した。このようにスズキ・メソッドでは60年にわたり幼児期からの音楽教育に第一線で取り組んできました。

2年ぶりの開催となる今回は、2008年より足掛け2年間にわたり開催している鈴木鎮一メモリアルイヤーのフィナーレと位置づけ、多方面で活躍するスズキ・メソッド卒業生たちも駆けつけ、コンサートを盛り上げます。

特に、世界で活躍するヴァイオリン奏者の竹澤恭子さん、渡辺玲子さん、江口有香さん、舘ゆかりさん、三浦章広さんも演奏します。そして世界各地から駆けつける子どもたちから、鈴木鎮一へのメッセージも披露されます。

小学校低学年の子どもたち40人で演奏されるヴィヴァルディの「春」に始まり、最後は3歳から参加するヴァイオリン・チェロ・フルート・ピアノによる3000人余の子供たちの「キラキラ星変奏曲」の大合奏が武道館の広いフロア一杯になり、客席参加の子どもたちと共に館内が美しい音で包まれます。これは聴いていただく方すべてが毎回感動に包まれる瞬間です。

連絡先 社団法人才能教育研究会 グランドコンサート実行委員会

広報担当 高木康太郎:03-3295-0270:ktakagi@suzukimethod.or.jp

スズキ・メソッド公式サイト <http://www.suzukimethod.or.jp/>

グランドコンサート公式サイト <http://www.suzukimethod.or.jp/03/52gr/>



スズキ・メソッドとは

社団法人
才能教育研究会

Press Information 2009

2009年2月24日



鈴木鎮一が創始した、幼児からの音楽教育法として国内はもとより広く世界に普及している。

ヴァイオリン、ピアノ、チェロ、フルートなどの楽器を通して、高い感性と美しい心を育み、集中力を養うという、音楽教育の域を超えた人間教育として注目を集めている。この教育法は「母語教育法」とも言われるように、すべての子どもが自由自在に言葉と話していることに着目している。母親が子どもに言葉を語りかけるときの繰り返しと愛情を重視し、「どの子どもも育つ 育て方ひとつ」「人は環境の子なり」という理念に基づいて、研究を続けている。

現在、国内においては2-3歳から大人にいたるまでの約2万人が約1,000人の指導者とともに、また海外では世界46カ国、とくに米国では30万人にのぼる子どもたちが、スズキ・メソッドで学んでいる。

<スズキ・メソッド グランドコンサート>

すでに50回を越え、海外からの参加も含めて毎回3,000人以上が感動的な演奏を繰り広げる。その模様は各国のマスメディアに多く取り上げられ、またインターネットを通じて世界中にも配信された。

グランドコンサートの前身となる才能教育研究会 第1回全国大会は、1955年（昭和30年）、東京千駄ヶ谷の東京体育館で開催された。この時に記録された映画フィルムは、後にアメリカで大きな衝撃をもって迎えられ、スズキ・メソッドが世界に拡大する第一歩となった。

第12回（1966年）からは、日本武道館に場所を変え、現在に至る。その間には天皇皇后両陛下をはじめ、多くの皇族や各界の方々、世界の名だたる演奏家が来場され、熱い拍手を送ってくださった。また毎回、先輩方が飛び入りで一緒に演奏する姿も見受けられる。いつの時代も、グランドコンサートは、親たちが子どもたちの無限の可能性をたくす場となっている。



鈴木鎮一 プロフィール

社団法人
才能教育研究会

Press Information 2009

2009年2月24日



●海外からの受賞

1969年ベルギー ユージン・イザイ財団 イザイ賞
1972年カナダ・ウィニペグ市 名誉市民
1973年アメリカ・フィラデルフィア
人間能力開発研究所・スペクトラム賞
1978年アメリカ・ジョージア州アトランタ市 名誉市民
1982年フランス 教育功労勲章
1982年アメリカ・ルイジアナ州モンロー市 名誉市民
1985年ドイツ連邦共和国 功労勲章一等功労十字章

●海外の大学から音楽博士・名誉音楽博士号

1966年アメリカ・ボストン ニューイングランド大学
1967年アメリカ・ケンタッキー ルイビル大学
1972年アメリカ・ニューヨーク ロチェスター大学
1982年アメリカ・ルイジアナ州 ノースイースト・ルイジアナ大学
1984年アメリカ・オハイオ州 オベリン大学
1990年アメリカ・オハイオ州クリーブランド音楽大学
1990年イギリス・セントアンドリュース大学
1992年アメリカ・ニューヨーク州 イサカ大学
1992年アメリカ・メリーランド大学

●日本における受賞

1951年第2回 中日文化賞
1961年第7回 信毎文化賞
1970年勲三等瑞宝章

1898年(明治31年)10月17日、名古屋市に生まれる。父政吉は日本における最初のヴァイオリンを製作(明治21年)、名古屋に鈴木バイオリン工場を設立した。市立名古屋商業学校卒業。

1920年(大正9年)上京し、徳川義親侯爵家に寄宿して、ヴァイオリンを安藤幸(幸田露伴の妹)に師事。翌年、徳川侯爵らの世界一周旅行に同行し、それがきっかけとなり8年間におよぶベルリン留学が始まる。ベルリン・ホッホシューレ(高等音楽学校)のカール・クリングラー教授に学ぶ。また、相対性理論で有名なアルベルト・アインシュタイン博士に薫陶を受け、博士の知的グループから大きな影響を受けた。

1928年(昭和3年)ワルトラウト・ブランゲと結婚し、帰国。帰国後、3人の兄弟と『鈴木カルテット』を結成、活発な演奏活動始める。(この頃に録音された鈴木カルテットの原盤からの演奏が2008年12月にCDにリリースされ話題となる)

1928年(昭和3年)国立音楽学校の講師を務める。

1931年(昭和6年)当時ロシアの世界的ヴァイオリニストであったアレキサンダー・モギレフスキー教授らとともに、帝国音楽学校を東京に設立、教授に就任。その後校長に就任。

1937年(昭和12年)このころ江藤俊哉、豊田耕兒、小林武史・健次兄弟、鈴木秀太郎、有松洋子らを自宅などで指導。

1943年(昭和18年)戦時下に長野県木曾福島に移る。

1946年(昭和21年)長野県松本市下横田に松本音楽院を開設、院長に就任。松本に移り、才能教育研究会の前身である『全国幼児教育同志会』を結成。

1948年(昭和23年)同志会を『才能教育研究会』と改称。

1950年(昭和25年)10月 文部省より『社団法人 才能教育研究会』の認可がおりる。

1955年(昭和30年)3月東京体育館において第1回全国大会(グランドコンサート)開催。皇太子殿下始め、皇族方のご臨席を仰ぎ、多数の各国外交団も出席。2,000名の生徒によりヴァイオリンの大合奏。

1964年(昭和39)3月 10名の子どもたちによる第1回訪米演奏旅行。米国全土の音楽教育界に”スズキ・インパクト”と呼ばれ注目を集めた。

1966年(昭和41年)10月 著書『愛に生きる』を講談社より出版。第2回訪米演奏旅行。全米19都市で演奏と講演、熱烈な歓迎を受けた。以後、訪米演奏旅行は回を重ね、1994年の演奏旅行で30回を数えた。

1975年(昭和50年)第1回世界大会をハワイにおいて開催。日本・アメリカ・オーストラリアなどから870名余りが参加。

1978年(昭和53年)4月 日米親善コンサートのため100名の子どもたちとともに訪米。ワシントンのケネディセンターで行なわれたコンサートには、カーター大統領夫妻も出席し、日米200名の子どもたちの演奏に大統領も感激、国際親善の暖かい光景を展開した。

1986年(昭和61年)12月 米寿記念コンサート「鈴木鎮一と”キラキラ星”たち」がサントリーホールで開かれる。

1991年(平成3年)英サンデータイムズ紙の特集「20世紀をつくった1000人」の中の1人に選ばれる。1000人中、日本人は10人。

1998年(平成10年)1月26日永眠。享年99歳。